

# 一般財団法人企業経営研究所定款

## 第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、一般財団法人企業経営研究所（英文名 Suruga Institute）と称する。

(事務所)

第2条 本法人は、主たる事務所を静岡県駿東郡長泉町に置く。

## 第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本法人は、地域経済社会や中堅企業経営の実証的調査研究、企業の戦略的行動に必要な各種情報の提供、助成並びに社会貢献活動への支援等の事業を行い、もって地域経済社会の新しい方向を模索し、中堅企業経営の健全な発展、育成に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地域経済社会の実証的調査研究及び分析に関する事業
- (2) 企業経営の実態調査並びに経営技術及び戦略の研究に関する事業
- (3) 経済社会及び企業経営に関する諸情報の収集、蓄積、編集及び提供に関する事業
- (4) 経営診断、各種相談及び指導に関する事業
- (5) 刊行物の出版及び各種講習会、研究会等の開催に関する事業
- (6) 経営者養成、社員教育等人材育成の支援に関する事業
- (7) 地域経済社会の国際交流の支援に関する事業
- (8) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

## 第3章 資産及び会計

(財産の種別等)

第5条 本法人の財産は、基本財産及び運用財産の2種類とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 基本財産とすることを指定して寄附された財産
  - (2) 評議員会で基本財産とすることを決議した財産
- 3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。
- 4 基本財産は、本法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 本法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第7条 本法人の事業計画書及び収支予算書については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。

(事業報告及び決算)

- 第8条 本法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
  - (2) 事業報告の附属明細書
  - (3) 貸借対照表
  - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
  - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号及び第4号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。

(剰余金の処分制限)

第9条 本法人は、剰余金の分配を行うことができない。

## 第4章 評議員

(評議員の定数等)

第10条 本法人に、評議員6名以上10名以内を置く。

2 評議員のうち1名を評議員会長とする。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団・財団法人法」という。）第179条から第195条までの規定に従い、評議員会において行う。

- 2 評議員は、本法人又はその子法人の理事、監事又は使用人を兼ねることができない。
- 3 評議員会長は、評議員会において選任する。

(評議員の任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第13条 評議員は、無報酬とする。

- 2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程による。

## 第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事並びに評議員の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する費用の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認

(8) その他評議員会で決議するものとして法令又は本定款で定められた事項

(開 催)

第 16 条 評議員会は、定時評議員会として毎事業年度終了後 3 箇月以内に 1 回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招 集)

第 17 条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議 長)

第 18 条 評議員会の議長は、評議員会長がこれに当たる。

2 評議員会長がやむを得ない事由により出席できないときは、当該評議員会に出席した評議員の互選により議長を選出するものとする。

(決 議)

第 19 条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) 基本財産の処分又は除外の承認
- (4) その他法令で定められた事項

3 理事若しくは監事又は評議員を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第 1 項の決議を行わなければならない。理事若しくは監事又は評議員の候補者の合計数が第 10 条又は第 21 条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第 20 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には、評議員会の議長及び当該評議員会において選任された出席者の 2 名以上が記名押印する。

## 第 6 章 役 員

(役員の設定)

第 21 条 本法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 6 名以上 12 名以内
  - (2) 監事 2 名以上 3 名以内
- 2 理事のうち、1 名を理事長とし、理事長をもって一般社団・財団法人法上の代表理事とする。
  - 3 理事長以外の理事のうち、1 名を専務理事、1 名を常務理事とし、専務理事、常務理事をもって一般社団・財団法人法第 91 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第 22 条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第 23 条 理事は、理事会を構成し、法令及び本定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及び本定款で定めるところにより、本法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 専務理事は、理事長に助言することができる。
- 4 専務理事並びに常務理事は、理事会において別に定めるところにより、本法人の業務を分担執行する。
- 5 理事長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に 4 箇月を超える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第 24 条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。
- 3 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べなければならない。

(役員任期)

第 25 条 理事及び監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、理事又は監事は、再任を妨げない。

- 2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 3 理事又は監事は、第 21 条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞

任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第27条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、理事及び監事に対しては、役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程に基づき、評議員会において決議された場合には、職務執行の対価として、報酬を支給することができる。

- 2 理事及び監事には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程による。

## 第7章 理事会

(構成)

第28条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第29条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第30条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第31条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団・財団法人法第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 33 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 34 条 本定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、本定款の第 3 条、第 4 条及び第 11 条についても適用する。

(解 散)

第 35 条 本法人は、基本財産の滅失による本法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(残余財産の帰属)

第 36 条 本法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第 9 章 公告の方法

(公告の方法)

第 37 条 本法人の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

## 第 10 章 事務局

(設置等)

第 38 条 本法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

3 事務局長は、理事長が理事会の承認を経て任免する。

4 事務局長以外の職員は、理事長が任免する。

5 事務局の組織及び運営に関する事項は、理事会の決議を経て理事長が別に定める。

## 第11章 補 則

(委 任)

第39条 本定款に定めるもののほか、本法人の運営に関する必要な事項は、理事会の決議を経て理事長が別に定める。

附 則

- 1 本定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 本法人の最初の理事長は岡野光喜、常務理事は中山 勝とする。
- 4 本法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

片岡一郎	井口賢明	山本 滉	室伏勝宏	岡野喜之助
加藤文夫	秋本大典	矢部利久	浅羽一秀	井出篤志

附 則

この変更は平成24年4月20日から施行する。

附 則

この変更は平成30年5月17日から施行する。

附 則

この変更は令和2年6月5日から施行する。

附 則

この変更は令和2年8月7日から施行する。

附 則

この変更は令和3年3月31日から施行する。



附 則

この変更は令和5年5月22日から施行する。